

第 72 回大会プログラム キリスト教史学会

日 時

2021年 9月10日（金）・9月11日（土）

会 場

日本大学法学部

(Web 会議方式 Zoom 開催)

*大会参加用の Zoom URL およびパスワードは、
参加申し込みをした方に メールでお知らせします。

大会1日目

開会式

10:10~10:30

第3会場

挨拶	10:10~10:15	司会 会務理事 渡辺祐子
歓迎の言葉	10:15~10:20	理事長 小檜山ルイ
オリエンテーション	10:20~10:30	日本大学法学部次長・教授 坂本力也
		専務理事 小川早百合

総会 10:30~10:55

研究発表 11:00~12:05 (各発表は25分間、質疑5分間)

第1会場

司会：三好千春（南山大学）

11:00~11:30

1. キリスト教伝来の「マリア観音」再考
—中国製白磁觀音像の受容をめぐる一考察—

宮川由衣（西南学院学院史資料センター）

11:35~12:05

3. ハンガリー・ボヘミア妃マリアの信仰についての一考察
—ルターへの5つの質問を通して—

伊勢田奈緒（東洋英和女学院）

（昼休み 12:05~13:00）

研究発表 13:00~13:30 (各発表は25分間、質疑5分間)

第3会場

司会：花島光男

13:00~13:30

5. グリフィス・コレクションにみる3・1独立運動
李省展（惠泉女学園大学）

シンポジウム 13:35~17:05

第3会場

「近代都市形成期のキリスト教と社会事業：黎明期の苦悩」

イギリス（ウェスレーと救世軍の事例から）

ドイツ（「社会都市」の観点から）

司会

石川照子 大妻女子大学
比較文化学部教授

パネリスト

馬渢彰 日本大学法学部教授

平松英人 東京大学ドイツ・
ヨーロッパ研究センター助教

（休憩5分 14:35~14:40）

イギリス・アメリカ (G.ミュラーと J.アダムズの事例から)

日本（東京史の視点から）

日本（片山潜の事例から）

パネリスト

木原活信 同志社大学社会学部教授

パネリスト

大岡聰 日本大学法学部教授

パネリスト

永岡正己 日本福祉大学名誉教授

（休憩10分：15:55~16:05）

コメンテーターおよびパネリスト間でのコメント

コメンテーター

猪刈由紀 上智大学講師

フロアとの意見交換

大会1日目終了（予定） 17:05

第3会場

諸連絡

大会2日目

研究発表

10:00～12:15 (各発表は25分間、質疑5分間)

第1会場

司会：久松英二（龍谷大学）

10:00～10:30

6. テオドール・ベザ（1519-1605）における信仰の確信
—「必要・不可欠」かつ「立ち入った」対話に向けて

八木隆之（明治学院大学）

10:35～11:05

8. 第二バチカン公会議（1962年-1965年）

野村誠（共愛学園 前橋国際大学）

〈休憩 11:05～11:10

司会：久松英二（龍谷大学）

11:10～11:40

10. 『天主之番兵』の編集者三島良忠と明治カトリック教会

山梨淳

11:45～12:15

12. 1558年11月時点でのイングランドにおける司教座空位について —メアリ1世のカトリック復興失敗の一因—

石川雄一

〈昼休み 12:15～13:00〉



公開講演

13:00～15:00

第4会場

司会 徐正敏（明治学院大学）

同志社大学 小原克博

「パンデミックとキリスト教」

閉会式

15:00～15:15

第4会場

オンライン情報交流会

15:20～16:30

第4会場

司会 朱海燕（東京外国語大学・明治学院大学）

* 本年度は懇親会の代わりの交流の場として開設しますので、ご自由にご参加ください。